

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 8日

事業所名 放課後等デイサービスTetoTe

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		パーティションで活動スペースを仕切るなど対応しています	今後は2Fスペースも有効利用できるようなしていきたい
	2	職員の配置数は適切である	4	1	ご利用人数に合わせて職員配置を行っています	職員がもう一人いると、外出活動や送迎に余裕がもてる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	必要に応じて職員が手をつなぐ、声掛けをするなどのサポートを行っています	安全面への配慮を考え、必要に応じてバリアフリー化を検討し、改修を行います
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		終礼時にその日の活動や児童の様子等全員で振り返りを行い、対応の共有を図っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	アンケートは集計後に職員間で共有し、改善点を話し合った	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			4月8日に公開予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		今後の課題として検討している
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		職員が持ち回りで各自得意なテーマをまとめ、研修を行う。外部の研修へも積極的に参加をさせてもらっている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			子どもや保護者からのニーズの聞き取りを踏まえ、必要に応じて太田ステージの評価や運動機能評価、観察を通したコミュニケーション等のアセスメントを行い、総合的・客観的に分析してサービス計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		お子さまの成長を観察し、標準化されたアセスメントを適宜とっている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			月間プログラムはチームで意見を出し合い、決定している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		生活プログラム、粗大・微細運動プログラム、認知プログラムと大枠を決め、下位プログラムを工夫している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	休日・長期休暇時は平日には時間的に難しい外出活動や屋食づくり等の社会生活活動を取り入れている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		子どもの必要性・適応を踏まえて、個別・集団を組み合わせている	低学年においては児童の時間的なゆとりもあるため、個別療育の時間を現状よりも少し増やして、サポートしていきたい
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎日の朝礼において支援の内容確認・役割分担をしている	現在集団プログラムについての内容確認が主となっているが、個別プログラムについてもその内容・目的を全員で共有できるようにしていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		毎日の終礼においてその日の支援で気づいた点等を報告し、共有。改善策も話し合っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		活動プログラムに対する反応からその日の児童の全体的な様子等、客観的事象の記載をこころがけている。	支援計画のどの目標に対応した記述であるかが、曖昧になっていることが少なくないため、日々の記録において明確にしていくことを心がけている
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	定期的なモニタリングに加え必要に応じてモニタリングを行い、計画書の見直しを行っている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1	それぞれのニーズや課題に合わせて、支援を行っている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		担当者会議には児発管に加え、状況に精通した職員も参加しています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		保護者から学校の情報が得にくい児童については、担任の先生から下校時刻を連絡してもらっている。送迎時間が遅れる時は学校へ連絡を入れている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	該当児童はいませんが、保護者からの情報提供をもとに、医療機関とも連携をとり対応します	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	児童相談支援事業と連携し、就学前の利用施設と情報共有の場を設定してもらう	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	外部の研修にも積極的に参加しています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		現状行えていないが、今後の課題として検討している
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5		現状行えていないが、今後の課題として検討している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		連絡帳や送迎時の報告を通して、日々の状況や課題をお伝えしている。必要に応じ保護者からの電話相談に対応。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	要望にそって、自宅でできる支援・トレーニング法を提供しています		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		ご契約時に説明を行い、質問がありましたらお答えしています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		職員間で情報共有をした上で、都度対応しています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		保護者を交えてBBQや綿菓子イベントを実施した	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		日々の情報共有を密にすることで、迅速な対応をとるようにしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		毎月『お便り』を発行、活動状況や行事予定をお知らせしている	
	35	個人情報に十分注意している	5		個人ファイルは鍵付きのキャビネットに保管、取り扱いには注意している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		言語的コミュニケーションが難しい児童には、絵カードを使用	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1		今後夏祭り等企画し、近隣住民の方にもきていただけるようにしたい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	室内の見やすい箇所に掲示しており、定期的に研修を行っている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		消防署に依頼し、児童に対する防災講義、消火器訓練を実施	活動に避難訓練を取り入れ定期的に行う予定。火災、地震、不審者対応等、考えられる場面を想定して実施していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		定期的に厚労省の「障害者虐待の防止と対応の手引き」の読み合わせを行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3		身体拘束に関するマニュアルにそって、必要に応じ計画に記載していきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		全児童のアレルギーの有無・アレルギー物質についての一覧表を作成し、おやつ提供時に毎回確認できるようにしていきたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		事例については職員間で共有し、改善策を検討している	ヒヤリハットにあがってくるのが少ないと思われる。小さなことでもヒヤリハットにあげていこうにしたい